※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　芸術科

教科	芸術科	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	ＭＯＵＳＡ２（教育芸術社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱分野では、独唱、合唱に取り組みます。
・器楽分野では、ギター、キーボードに取り組みます。
・日本の伝統的な音楽の学習として、箏の演奏を行います。
・実技課題では個人で取り組むものの他、ペアやグループで取り組むものもあります。
・鑑賞の授業では、クラシック音楽を中心に、様々なジャンルの作品に触れる機会をもちます。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成する。

１．曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
２．自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながら良さや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
３．主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけ、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	歌の楽しみ	・姿勢や呼吸、発声の基本を理解し、のびやかな声で歌う。 ・ハーモニーを感じながら、3部合唱をする。 ・曲の特徴や性格を捉え、ふさわしい表現になるよう工夫する。	a:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱の技能を身につけ、創造的に表している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱の音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:題材に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。	・実技課題	・実技課題	・観察・聴取 ・振り返りシート
	ギターの楽しみ	・音楽Ⅰで学んだ基本的な奏法に加え、「ハンマリング」などの技法を学び、効果的な表現法を身に付ける。 ・メロディーやコードによる伴奏を演奏し、弾き歌いをする。	a:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要なコードの知識やギターの技能を身につけ、創造的に表している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、ギターの音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:ギターの音色や奏法に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。	・実技課題	・実技課題	・観察・聴取 ・振り返りシート
	オーケストラを楽しもう	・オーケストラについて学び、楽曲を鑑賞する。	a:曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりついて理解する. d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 C:題材に関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	リズム・アンサンブルの楽しみ	・楽譜の正しい読み方を身に付ける。 ・グループでリズム・アンサンブルをする。	a:曲想と音楽の構造との関わりを理解し、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要なリズムの知識を身につけ、創造的に表している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、リズムによる音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:題材に関心をもち、学習に主体的かつ協働的に取り組もうとする。	・ワークシート ・実技課題	・実技課題	・観察・聴取 ・振り返りシート
	ピアノの楽しみ	・ピアノの基礎的な奏法を身につける。 ・コードの基礎知識を発展させ、楽曲に伴奏付けしたり、アレンジしたりする。 ・コードによる伴奏を演奏したり、弾き歌いしたりする。	a:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要なコードの知識やピアノの技能を身につけ、創造的に表している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、伴奏付けやピアノの音楽表現を工夫し、どのように創作・演奏するかについて表現意図をもっている。 c:ピアノの音色や奏法、コードによる伴奏付けに関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。	・ワークシート ・実技課題	・ワークシート ・実技課題	・観察・聴取 ・振り返りシート
	舞台芸術に親しむ	・ミュージカル作品を鑑賞し、美術と音楽の融合を体験する。 オペラからミュージカルにつながる歴史を知り、それぞれの特徴を理解する。	a:曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりついて理解する. d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。 C:題材に関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	・ワークシート	・ワークシート	・ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	箏を弾こう	・音楽Ⅰで学んだ基本的な演奏法に加え、強押し、弱押し、合わせ爪などの技法を習得し、創造的な表現につながるよう工夫する。	a:音楽と文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な箏の技能を身につけ、創造的に表している。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、箏の音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:箏の音色や奏法に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとする。	・ワークシート	・ワークシート	・観察・聴取 ・振り返りシート
	グループアンサンブルの楽しみ	・楽器の役割を意識しながら、音色や奏法の特徴を生かし、表現を工夫してアンサンブルの喜びを味わう。	a:創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、創造的に表している。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、グループでの音楽表現を工夫し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c: 題材に関心をもち、学習に主体的かつ協働的に取り組もうとする。	・実技課題	・実技課題	・振り返りシート ・相互批評

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度